

JISA5308『レディーミクストコンクリート用骨材 砂利・砂』の概要

・アルカリシリカ反応性による区分

区分	摘要
A	アルカリシリカ反応性試験の結果が“無害”と判定されたもの。
B	アルカリシリカ反応性試験の結果が“無害でない”と判定されたもの、又はこの試験を行っていないもの。

・粒度

粒の大きさによる区分		50	40	30	25	20	15	10	5	2.5	1.2	0.6	0.3	0.15
砂利	40	100	95～100	-	-	35～70	-	10～30	0～5	-	-	-	-	-
	25	-	-	100	95～100	-	30～70	-	0～10	0～5	-	-	-	-
	20	-	-	-	100	90～100	-	20～55	0～10	0～5	-	-	-	-
砂		-	-	-	-	-	-	100	90～100	80～100	50～90	25～65	10～35	2～10

・品質

項目	内容
外観	石質異物 砂利及び砕は、清浄、強硬、かつ、耐火性及び耐久性をもち、ごみ、土、有機不純物などを有害量含んでいてはならない

試験項目	砂利	砂
絶乾密度 g/cm ³	2.5 以上 a)	2.5 以上 a)
吸水率 %	3.0 以下 b)	3.5 以下 b)
粘土塊量 %	0.25 以下	1.0 以下
微粒分量 %	1.0 以下	3.0 以下 c)
有機不純物	-	同じ、又は淡い d)
やわらかい石片 %	5.0 以下 e)	-
石灰・亜灰などで密度1.95g/cm ³ 液体に浮くもの %	0.5 以下 f)	0.5 以下 f)
塩化物量 kg/m ³	-	0.04 以下 h)
安定性 g)i)	12 以下	10 以下
すりへり減量 %	35 以下 j)	-

注a) 購入者の承認を得て、2.4以上とすることができる。

b) 購入者の承認を得て、4.0以下とすることができる。

c) コンクリート表面がすりへり作用を受けない場合は、5.0以下とする。

d) 試験溶液の色合いが標準色より濃い場合でも、A. 10 n)に規定する圧縮強度分率が90%以上の場合は、購入者の承認を得て用いてもよい。

e) 舗装コンクリート及び表面硬さが特に要求される場合に適用する。

f) コンクリートの外観が特に重要でない場合は、1.0以下とすることができる。

g) この規定は、購入者の指定に従い適用する。

h) 0.04を越すものについては、購入者の承認を必要とする。ただし、その限度は0.1とする。

プレテンション方式のプレストレストコンクリート部材に用いる場合は、0.02以下とし、購入者の承認があれば0.03以下とすることができる。

i) A. 10 h)の試験操作を5回繰り返す。

j) 舗装コンクリートに用いる場合に適用する。
